

基本目標	地域資産を蓄積する				
成果指標	日本遺産登録	本年度目標値	登録	現状値	申請 (H30.5登録外)
成果指標		本年度目標値		現状値	

h y	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第1四半期	<p>【政策1 歴史や文化、風土の活用と継承】については、日本遺産申請の結果を受け、県文化財課を通じてストーリー及び活性化計画等について選定委員のコメントをいただいた。歴史や文化財の活用については、5月8日に歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会を開催し、事業計画等について協議した。5月26日には歴史めぐりを実施し、常陸風土記の丘・舟塚山古墳(茨城県石岡市)及び三味塚古墳(茨城県行方市)を見学した。参加者は30名であった。また、文化財シリーズとして「広報ましこ」5月号に「益子の民話と身近な文化財①～桜姫～」、6月号には「益子の民話と身近な文化財②～ましこの義人藤根善治～」を掲載した。ましこ世間遺産申請については、自治会長会議、町ホームページ、広報ましこお知らせ版、広報ましこ(6月号)等で周知を図り、6月1日から受付を開始した。6月30日現在の申請件数は7件であった。アカマツ復活プロジェクトについては、益子里山の会が実施予定地の下草刈りを行うとともに、県東環境森林事務所との打合せを行った。</p> <p>【政策2 次世代につなぐ基盤整備】については、道路整備のために県都市計画課、真岡土木事務所との打ち合わせ、意見交換会を実施した。ランドスケープデザイン作成のための、委託業者を決定し、町内の確認作業を行った。役場周辺土地区画整理事業では地権者説明会を開催、今後の進め方について話し合った。益子の森の遊具について県東環境森林事務所と現地確認及び協議を行った。</p> <p>【政策3 魅力あるブランドイメージづくり】については、DC関連イベントの開催により、駅からいちご狩りツアーなど若い女性等新たな客層の開拓、誘客を図った。ましこdeカフェイベントにおいては、カフェの町に向けたイベントの開催となった。</p>	<p>【政策1】については、日本遺産申請の結果を受けて、7月10日に文化庁を訪問(町長随行)し、申請内容全体について指導助言をいただく。8月以降も、ストーリー及び活性化計画を検討し、計画的に文化庁を訪問しアドバイスをいただくようにする。7月6日には第1回歴史文化基本構想推進委員会を開催し、事業計画等について協議する。また、文化財シリーズとして「広報ましこ」7月号に「益子の民話と身近な文化財③～ふたりの武士～」を掲載する。文化財の保存については、内町屋台修理、綱神社・大倉神社茅葺屋根修理がスムーズに行えるよう支援する。ましこ世間遺産については、まだ未設置の世間遺産の看板を設置するとともに、7月7日には申請された世間遺産の現地調査を行い、認定に向けた準備を進める。また、認定された「ましこ世間遺産」の動画撮影については継続して行い、町ホームページ上で公開できるようにする。アカマツ復活プロジェクトについては、イベントの開催の時期や内容等について、県東環境森林事務所、益子里山の会、益子小学校と協議を行う。</p> <p>【政策2】ランドスケープデザイン作成のため、環境、農業、観光などの各分野関係者との意見交換やワークショップを実施する。土地区画整理事業では、地権者の検討材料とするための区域、計画案作成を進める。都市計画道路、用途地域の見直しの検討作業を進める。歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業を活用し、小宅古墳群亀岡八幡宮のトイレ整備等を進める。益子の森の遊具・施設の整備について、検討を行う。</p> <p>【政策3】DC関連、ひまわり祭、土祭、益子夜市、さんぼ市など益子ならではのイベントの開催により、町イメージアップを図る。カフェイベントをもとに、カフェの町ましこブランドに向けた連携を図る。</p>

基本目標	地域資産を蓄積する				
成果指標	日本遺産登録	本年度 目標値	登録	現状値	申請 (H30.5 登録外)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第2 四半期	<p>【政策1 歴史や文化、風土の活用と継承】については、日本遺産申請について県文化財課との協議を踏まえ、9月19日に文化庁を訪問し、ストーリーなど全般についてアドバイスをいただいた。文化財の保存・活用のあり方については、第1回歴史文化基本構想推進委員会を開催し、平成30年度事業計画等について協議した。歴史や文化財の活用については、9月1日に歴史講座・文化財ガイド養成講座を開催し、「古墳時代のましこ」について研修した。参加者は34名であった。また、文化財シリーズとして「広報ましこ」7月号に「益子町の民話と身近な文化財③～ふたりの武士～」、8月号に「益子町の民話と身近な文化財④～大平山のお話～」、9月号に「益子町の民話と身近な文化財⑤～石橋料寄附の碑」を掲載した。風土や風景、風習の継承については、7月29日に「ましこ世間遺産認定式」を開催し、7件が認定された。また、アカマツ復活プロジェクトについては、今年度のイベントの実施について、県東環境森林事務所及び益子里山の会と打ち合わせや現地確認を行った。</p> <p>【政策2 次世代につなぐ基盤整備】については、ランドスケープデザイン作成のため、環境・農業・観光等の専門分野からのヒアリング・意見交換、及び現地調査・ワークショップを行った。進行状況報告、小宅地区において勉強会を開催した。道路整備では七井大平線(七井中学校通学路)の道路改良説明会を開催、栗崎道祖土線・西浦線が完了した。役場周辺土地区画整理事業では、第1回説明会内容について欠席した地権者への説明を行うとともに、県との協議を進め、計画素案の作成を行った。</p> <p>【政策3 魅力あるブランドイメージづくり】については、益子夜市、ひまわり祭、土祭、さんぽ市など益子ならではのイベントを開催した。</p>	<p>【政策1】については、日本遺産のストーリーを魅力ある内容に再構成し、県文化財課との協議を踏まえ、年内に文化庁への訪問を行う。文化財の保存・活用のあり方については、11月7日に第2回歴史文化基本構想推進委員会、11月12日に歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会をそれぞれ開催し、今年度の事業内容の進捗状況等について確認するとともに、次年度の事業内容等について協議する。歴史や文化財の活用については、文化財シリーズとして「広報ましこ」10月号に「益子町の民話と身近な文化財⑥～ウドン祇園のいわれ～」を掲載する。風土や風景、風習の継承については、ましこ世間遺産(昨年度認定9件、今年度認定7件)を記録・保存するための撮影の準備を行う。また、アカマツ復活プロジェクトについては、今年度のイベントの実施に向けて、県東環境森林事務所と協議を行うとともに、益子里山の会や益子小学校との事前打合せを実施する。また、イベントの実施に当たっては、とちぎの元気な森づくり県民税事業等を活用するため、その準備を進める。</p> <p>【政策2】ランドスケープデザイン作成のために、収集した情報をデータ化するとともに、分析を進める。ランドスケープデザインの内容、作業状況等について周知、PRを図る。道路整備では、七井大平線改良工事設計、一の沢円道寺線説明会の準備を進める。土地区画整理事業では、第2回説明会において素案を提示することにより、地権者の意見を求め、事業の方向性を決める。</p> <p>【政策3】コスモス祭、後土祭、ポターリングましこ、トレランなど開催により、イメージアップを図る。来年のアフターDCに向けた取り組みを進める。</p>

基本目標	地域資産を蓄積する				
成果指標	日本遺産登録	本年度 目標値	登録	現状値	申請 (H30.5登録外)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第3 四半期	<p>【政策1 歴史や文化、風土の活用と継承】では、日本遺産のストーリー等について、南山大学教授 濱田琢司 氏の助言や県文化財課の指導をもとに検討を行ってきた。歴史や文化財の活用については、11月7日に第2回歴史文化基本構想推進委員会、11月12日には歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会をそれぞれ開催し、次年度の事業計画等について協議した。また、11月28日には第2回歴史めぐり(県立博物館、宇都宮城址公園、飛山城址)を実施し好評であった。参加者は20名であった。さらに、文化財シリーズとして、「広報ましこ」10月号に「益子の民話と身近な文化財⑥～ウドン祇園のいわれ～」、11月号には「益子の民話と身近な文化財⑦泥かけ地蔵のはなし～」を掲載した。風土や風景、風習の継承については、ましこ世間遺産(下期分)の募集を12月1日から開始し、12月13日の自治会長会議において周知を図った。アカマツ復活プロジェクトについては、12月5日に益子小学校6年児童46名による枝打ち体験を実施した。</p> <p>【政策2 次世代につなぐ基盤整備】については、ランドスケープデザインとはどういうものかについて町民大学における説明の実施、広報紙への掲載によって周知を図った。また陶器市期間中、陶器市・益子焼などの観光事業と結び付けた現地調査を実施した。道路整備では、都市計画道路見直しのための地元説明会を開催した。役場周辺区画整理事業では、第2回(10/2)、第3回(12/11)の説明会を開催した。素案の提示、事業計画スケジュールについて説明をし、賛同を得た。欠席者には会議内容の説明を行った。</p> <p>【政策3 魅力あるブランドイメージづくり】については、平成30年度の地域ブランド調査魅力度ランキングが450位(昨年度486位)となった。英国におけるセールス事業打合せを実施した。</p>	<p>【政策1】については、日本遺産申請に向けて、1月15日に最終協議を行い、県文化財に1月20日までに、文化庁へは1月25日までに申請書類を提出する。歴史や文化財の活用については、1月27日の第2回歴史講座(講師:益子陶芸美術館学芸員 横堀 聡 氏)及び2月24日の第3回歴史講座(講師:栃木県埋蔵文化財センター調査課副主幹兼課長 塚本師也 氏)の開催に向けて準備を進める。また、文化財シリーズとして、「広報ましこ」1月号に「益子の民話と身近な文化財⑧～火伏せの観音様～」を掲載する。ましこ検定については、今年度より各中学校を会場とする初級試験を実施するとともに、初めての中級試験を実施するため、しっかりと準備を行う。風土や風景、風習の継承については、ましこ世間遺産の応募が現在1件であり、問合せが3件である。募集締切が1月31日までとなっており、引き続き周知を図る。アカマツ復活プロジェクトについては、2月19日の「植樹体験」(益子小5年児童53名参加予定)に向けて、県東環境森林事務所と協議するとともに、益子里山の会や益子小との事前打合せを綿密に行う。</p> <p>【政策2】ランドスケープデザイン作成のため、山本地区において意見交換会、現地調査を実施(1/19、20)し、情報の収集、データの蓄積を進める。都市計画道路の見直しについては、県との協議を進め、住民説明会を開催するなど作業を進める。土地区画整理事業では、地権者への説明とともに仮同意を得て、準備会設立を進める。益子の森の遊具は県が2か年で整備する。本年度分を県が発注したので、協力して進めるとともに、次年度設置分について検討をする。</p> <p>【政策3】2019、2020 英国セールス事業内容について検討し、2019 事業の計画を進める。ビジュアルアイデンティティの確立、町のフォント、ロゴの統一の進め方について検討する。</p>

基本目標	地域資産を蓄積する				
成果指標	日本遺産登録	本年度 目標値	登録	現状値	申請 (H30.5 登録外)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次年度の方針
本年度総括 (第4四半期も含む)	<p>【政策1 歴史や文化財、風土の活用と継承】については、指標1「ましこ検定の受検者数」は 197 人(初級185人、中級12人)であり、目標値80人を大幅に超えた。指標2「ましこ世間遺産認定数」は42件であり、目標値35件を超えた。施策1の主な事業として、歴史文化基本構想推進委員会の開催(年2回)、歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の開催(年2回)、日本遺産の申請、第3回ましこ検定の実施、歴史講座の開催(年5回)、歴史めぐりの開催(年2回)、広報ましこ「益子町の民話と身近な文化財」への掲載(年9回)、内町屋台修理、綱神社・大倉神社茅葺屋根修理、宇都宮家墓所内の竹の伐採を行った。施策1の進捗状況は100%である。施策2の主な事業として、ましこ世間遺産認定(22件)及び動画撮影16件(町ホームページ上で公開)、アカマツ復活プロジェクトのイベント(益子小5年児童の参加)を実施した。</p> <p>【政策2 次世代につなぐ基盤整備】について、道路整備では改良、舗装工事などの計画路線の事業を完了した。都市計画構想案に関する説明会(3/19)、役場周辺土地区画整理事業説明会(3/26)、都市計画審議会(3/26)を開催し、事業計画を住民、関係者、委員に説明を行った。区画整理事業においては、地権者への説明とともに事業の仮同意取得を進め、66人中58人の同意を得て組合設立準備会の設立準備を進めた。</p> <p>【政策3 魅力あるブランドイメージづくり】については、益子の雛めぐりを開催(2/9-3/3)、お雛の展示や、クロージングイベントには多くの参加者のほか写真撮影者が来場、益子ならではのイベントとなった。また、アフターDCキックオフセレモニー「駅からいちご狩り」を北山駅において開催し、「いちごの駅 北山」の駅名標の除幕式を行うなど近隣のいちご狩りスポットをPRした。</p>	<p>【政策1】については、次年度の指標1の目標値は100人である。すでに目標値を大幅に超えており、上方修正を図る。次年度も、中学校を会場として、中学1年生を対象とする受検を行う。また、初級合格者については、中級受検を働きかける。指標2については、目標値50件に到達できるよう広報周知を図る。また、認定後も積極的に活用できるよう支援する。施策1の主な事業として、日本遺産の申請、歴史文化基本構想推進委員会の開催(年2回)、歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の開催(年2回)、第4回ましこ検定の実施、歴史講座の開催(年5回)、文化財の修理、文化財防火訓練を実施する。施策2の主な事業として、地域の祭りや風習の記録・保存、第4回ましこ世間遺産の認定、ましこ世間遺産(認定済み)の動画撮影、アカマツ復活プロジェクトのイベント(益子西小5年児童の参加予定)を実施する。</p> <p>【政策2】ランドスケープデザインについては旧7小学校区において地域懇談会の実施と現地調査を行い、完成に向けて作業を進める。都市計画道路変更、役場周辺区画整理事業は年内の都市計画決定に向けて計画案の縦覧や都市計画審議会の開催などの作業を進める。区画整理事業は計画の策定とともに、組合設立に向けた同意の取得、準備会での事業内容の検討を進める。</p> <p>【政策3】アフターDCの取り組み、イベントを開催し、誘客を図る。町のブランド価値を高めるためにビジュアルアイデンティティを確立し、町のフォントやロゴを作成し、イメージアップを図る。イギリスでのトップセールスに向けて、事前の準備を進め、現地でのプロモーションを実施する。</p>

		課局名	環境課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%		
KPI	ましこ検定の受検者数	本年度目標値	80人	現状値	197人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	③亀岡八幡宮里山会との連携		③代表者との面会 ③森林山村多面的機能発揮対策事業説明会出席	
	5月			③亀岡八幡宮里山の会の活動現場確認	
	6月			③亀岡八幡宮里山の会代表者との活動方針の打合せ	
	7月			③県議会農山村地域振興議員の会による亀岡八幡宮里山の会現地視察	
	8月			③亀岡八幡宮里山の会代表者との次年度の活動方針の打合せ	
	9月			③亀岡八幡宮里山の会の活動状況（現地）確認	
	10月			③多面的事業中間検査における指摘事項への対応（図面作成支援）	
	11月			③亀岡八幡宮里山の会の活動状況（現地）確認	
	12月			③多面的事業及び侵入竹対策事業の実績報告書作成支援	
	1月			③亀岡八幡宮里山の会の事業完了確認検査	
	2月			③次年度実施に向けた打ち合わせ	
	3月			③次年度実施に向けた打ち合わせ	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③亀岡八幡宮里山の会については、現地確認や活動状況報告から、特に古墳周辺が年々整備がされていることを確認している。古墳群という歴史的な遺産だけでなく、春には満開に咲き誇る様々な桜や、約3haの地面いっぱいに咲く菜の花を見物しに県内外より多くのお客様にお越しいただいている場所なので、今後も整備を続けて行くためには活動組織との親密な関係の形成が不可欠である。</p>	<p>③亀岡八幡宮里山の会の活動区域でのとちぎの元気な森づくり市町村交付金事業および森林山村多面的機能発揮対策事業を活用し整備をすることもあるので関係事務所への事業内容等の報告、連絡調整をする。また事業を実施するにあたり地元の合意形成が必要となるため事業費や事業内容について、地元との意見交換をしていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③亀岡八幡宮里山の会による景観対策のための整備については地元との合意形成が図られている。今後も整備を続けていくためには地元活動組織との連携が不可欠である。</p>	<p>③亀岡八幡宮里山会が整備をした箇所について適切な管理ができるよう県東環境森林事務所と連携を図り、必要に応じて助言等協力をしていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③小宅地区の3.7haの多面的事業及び侵入竹対策事業の作業完了。今後も整備を続けて行くためには地元活動組織との連携が不可欠である。</p>	<p>③亀岡八幡宮里山会が整備をした箇所について作業完了確認し、今後も適切な管理をできるよう県東環境森林事務所と連携を図り、必要に応じて助言等をしていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③小宅馬場山地区について今後も整備を続けて行くためには地元活動組織との連携が不可欠である。</p>	<p>③亀岡八幡宮里山会が整備をした箇所について観光客も増えてきており、今後も適切な管理をできるよう県東環境森林事務所及びみどり推進機構と連携を図りつつ、必要に応じて助言等をしていくことが重要である。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	小宅古墳群整備に関しては生涯学習課とも連携を図り事業を進めていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。 なお、亀岡八幡宮里山の会との連携については、組織の活力維持のため、今後とも組織に対する行政の指導が欲しいところである。	小宅古墳群整備に関しては花の時期には特に観光客が訪れていただけようだったので観光商工課・生涯学習課との連携を図りつつ、植栽面だけでなくさらなる事業展開に協力していく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%		
KPI	ましこ検定の受検者数	本年度目標値	80人	現状値	197人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			②第1回ましこ検定・世間遺産実行委員会へ出席。4/19。（29年度実績、30年度計画について）	
	5月	②第1回実行委員会の開催（昨年度の反省）			
	6月				
	7月			②第2回ましこ検定・世間遺産実行委員会へ出席。7/18。（世間遺産審査、ましこ検定日程ほか）	
	8月	②第2回実行委員会の開催（実施に向けての検討）			
	9月				
	10月			②ましこ検定・世間遺産実行委員会の実施。10/26。（世間遺産審査会にのみ、観光商工課出席）	
	11月	②第3回実行委員会の開催について（実施に向けての検討）			
	12月				
	1月				
	2月	②第4回実行委員会の開始。ましこ検定の実施。		②ましこ検定・世間遺産実行委員会の実施。2/6。（世間遺産の審査・ましこ検定の出題問題検証）	
	3月				

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>②受験者が伸びていないので、ましこ検定について内容検討が必要。</p>	<p>②中級・上級受験を新たに設定するかを検討。中学生の受験について進める方向で調整。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②ましこ検定受験を中学生に受験してもらい、益子町への興味、愛着をもってもら取組みに繋げたい。 ②世間遺産の下期募集を行うか検討。</p>	<p>②ましこ検定の中学生受験について、学校・教育委員会と調整し、中学生が受験しやすい体制を整理していく必要がある。 ②世間遺産登録について、認定数が目標値に達成していないため、各委員から地元への働きかけを依頼し、新たな登録を目指す。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②観光資源に繋がり得る世間遺産の発掘を推進していきたい。</p>	<p>②担当課と協力して、世間遺産を生かした周遊ルートづくりを検討する。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>②観光資源に繋がり得る世間遺産の発掘を推進していきたい。</p>	<p>②担当課と協力して、世間遺産を生かした周遊ルートづくりを検討する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 世間遺産を生かした周遊ルートづくりを検討していただきたい。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%		
KPI	ましこ検定の受検者数	本年度目標値	80人	現状値	197人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①日本遺産申請に向けての取り組み ②第1回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の立ち上げ、協議会の開催（役員を選出ほか）		③第1回ましこ検定実行委員会の開催（4/19、9名参加 第2回ましこ検定結果報告・取次決算報告・平成30年度スケジュールについて） ④内町屋台修理、綱神社・大倉神社茅葺屋根修理補助金の交付決定（4/4）	
	5月	③第1回ましこ検定実行委員会の開催（昨年度実施した、ましこ検定の結果報告） ④文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ⑤歴史めぐりの開催 ⑥年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）		①日本遺産申請の結果発表（5/24 落選） ②第1回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の開催（5/8、13名参加 役員選出、事業内容・事業計画・取次予算の協議） ③歴史めぐり開催（5/26 30名参加 常陸風土記の丘・舟塚山古墳（茨城県石岡市）、三味塚古墳（茨城県行方市）） ④広報ましこ5月号（益子町の民話と身近な文化財①～桜姫～）掲載 文化財HP更新（1件）	
	6月			⑥広報ましこ6月号（益子町の民話と身近な文化財②～ましこの義人 藤根善治～）掲載	
	7月	①日本遺産申請に向けての取り組み（ストーリー作り、文化庁訪問） ②第1回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催（昨年度の実施報告・今年度の事業計画） ③第2回ましこ検定実行委員会の開催（募集チラシの検討） ④文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ⑤歴史講座・歴史めぐり・文化財ガイド養成講座の開催 ⑥年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）		①日本遺産申請に伴う内部打ち合わせ（7/20、4名参加） ②第1回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催（7/6、17名参加 平成29年度の実施報告・平成30年度の事業計画について） ③第2回ましこ検定実行委員会の開催（7/18、10名参加 第2回ましこ検定日程・中学生の受検・難易度・チャリ合格証、特典について） ④風戸塚古墳の肥料袋回収（7月上旬） 宇都宮家墓所の竹の伐採（7月中旬） ⑤広報ましこ7月号（益子町の民話と身近な文化財③～ふたりの武士～）掲載 文化財HP更新（2件）	
	8月	③第2回ましこ検定実行委員会の開催（募集チラシの検討） ④文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ⑤歴史講座・歴史めぐり・文化財ガイド養成講座の開催 ⑥年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）		①日本遺産申請に伴う内部打ち合わせ（8/3、5名参加） 陶芸メッセ・益子の松崎さんと打ち合わせ（8/15、4名参加） 県文化財課の武川さんと打ち合わせ（8/22、4名参加） 観光商工課の福田係長と打ち合わせ（8/23、3名参加） ②綱神社・大倉神社茅葺屋根修理補助金の額の確定（8/24） ⑥広報ましこ8月号（益子町の民話と身近な文化財④～大平山のお話～）掲載	
	9月			①日本遺産申請に伴う文化庁訪問（9/19、5名参加） ⑤歴史講座兼文化財ガイド養成講座（9/1、34名参加 古墳時代のましこ 進藤敏雄先生） ⑥広報ましこ9月号（益子町の民話と身近な文化財⑤～石橋崎寄附の碑～）掲載 文化財HP更新（1件）	
	10月	①日本遺産申請に向けての取り組み（ストーリー作り、文化庁訪問） ②第2回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催 ③第2回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会開催（検討事項の確認） ④第3回ましこ検定実行委員会の開催（出題問題の検討） ⑤文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ⑥歴史講座・歴史めぐり・文化財ガイド養成講座の開催 ⑦年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）		①日本遺産申請に伴う内部打ち合わせ（10/23、4名参加） 三役との打ち合わせ（10/25、6名参加） ④第3回ましこ検定実行委員会の開催（10/26、8名参加 第3回ましこ検定難易度・検定料・中学生の受検・特典・合格証等について） ⑦広報ましこ10月号（益子町の民話と身近な文化財⑥～ウドン祇園のいわれ～）掲載 文化財HP更新（1件）	
	11月	①日本遺産申請に向けての取り組み（ストーリー作り、文化庁訪問） ②第2回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催 ③第2回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会開催（検討事項の確認） ④第3回ましこ検定実行委員会の開催（出題問題の検討） ⑤文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ⑥歴史講座・歴史めぐり・文化財ガイド養成講座の開催 ⑦年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）		①日本遺産申請に伴う内部打ち合わせ（11/12、5名参加） ②第2回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催（11/7、16名参加 平成30年度の歴史文化推進事業・平成31年度の実施計画について） ③第2回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の開催（11/12、13名参加 平成30年度事業進捗状況・取次予算、平成31年度事業計画・取次予算の協議） 平成31年度文化芸術振興費補助金（歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会関係）の交付要望書提出（11/22） ④各中学校との日程調整 ⑥歴史めぐり開催（11/28 20名参加 県立博物館企画展「藤原秀郷」、宇都宮城址公園（清明館）、飛山城址） ⑦広報ましこ11月号（益子町の民話と身近な文化財⑦～泥かけ地蔵のはなし～）掲載 文化財HP更新（2件）	
	12月			①日本遺産のストーリーを南山大学教授の濱田琢司先生と濱田友緒さんにアドバイスを依頼。 日本遺産申請に伴う内部打ち合わせ（12/28、4名参加） ④各中学校との日程調整 ましこ検定チラシ作成 ⑦文化財HP更新（2件）	
	1月	①日本遺産申請の提出（1月末頃の予定） ②文化財防火訓練の開催（1/20実施予定） ③第4回ましこ検定実行委員会の開催（最終調整）、ましこ検定の実施 ④文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ⑤歴史講座・文化財ガイド養成講座の開催 ⑥年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）		①日本遺産申請に伴う内部打ち合わせ（1/8、6名 1/11、5名 1/15、6名 1/17、4名参加）1/22申請書提出 ②文化財防火訓練実施（1/20 7カ所） ましこ検定問題作成（中学生用、一般用（初級・中級）） ③第2回歴史講座（1/27、54名参加 益子焼昭和30年代～加守田章二を中心に～ 横堀 聡氏） ⑥広報ましこ1月号（益子町の民話と身近な文化財⑧～火伏せの観音様～）掲載、文化財HP更新（1件）	
	2月	③第4回ましこ検定実行委員会の開催（最終調整）、ましこ検定の実施 ④文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ⑤歴史講座・文化財ガイド養成講座の開催 ⑥年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）		③第4回ましこ検定実行委員会の開催（2/6、10名参加 第3回ましこ検定申込状況・中学生受検日程・問題の最終確認について） ③七井中検定実施（2/21、57名受検）、一般の部検定実施（2/23、初級7名・中級12名、計19名受検）、田野中検定実施（2/27、37名受検） ⑤第3回歴史講座兼第2回文化財ガイド養成講座（2/24、40名参加 縄文時代の益子～縄文人のくらしと縄文土器～ 塚本節也先生）、⑥文化財HP更新（4件）	
	3月			③益子中検定実施（3/1、84名受検） ⑤第4回歴史講座兼第3回文化財ガイド養成講座（3/2、53名参加 とちぎの山車・屋台と益子の屋台 池田貞夫先生） 第5回歴史講座（3/17、52名参加 黒羽藩主大勢増裕の改革と下之庄 馬場弘臣先生） ⑥広報ましこ3月号（益子町の民話と身近な文化財⑨～風戸の地蔵様と観音様～）掲載、文化財HP更新（1件）	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①日本遺産の申請をした結果、落選となってしまったので、その理由を文化庁へ向向き、話を聞く。また、ストーリー作りを検討する。 ②益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会を開催したが、未定部分が多く、各委員から要請された件が多かったため、来年度の補助金申請も踏まえたうえで、今年度できる部分を検討する。 ③予想以上にましこ検定受検者が少なかったため、広報活動に工夫が必要。ふるさと教育にもつながるため、希望する中学生に対して気軽に受検していただけるように中学校での開催も視野に入れる。また、中級編や上級編の問題作成を検討していく。 ④文化財修理補助金の交付決定者と連絡を密にとり、改修工事がスムーズに行えるようにバックアップをしていく。 ⑤キャンセル待ちが出るほどの大好評で、近隣の古墳や古代の文化について理解を深めることができた。</p>	<p>①日本遺産申請のストーリー作りを検討し、文化庁へ訪問する。 ②協議会で各委員から要請された件を整理し、来年度の補助金申請も踏まえたうえで、今年度できる部分を検討する。 ③ましこ検定の新しい問題の検討と広報活動の検討を行う。 ④文化財所有者との連絡を密にする。 ⑤歴史講座のメニューを決定し、実施に向けて計画をたてていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①日本遺産申請に伴う内部打ち合わせ等を実施後、文化庁へ向向き現時点でのストーリーを述べたが、認定にいたるまでにはまだまだ磨きをかける必要がある。 ②益子町歴史文化基本構想推進委員会の委員の皆様の見解を参考に、次年度からの事業内容を検討する。特に日本遺産のストーリーについて再構築が必要で、再チャレンジしてもらいたいという意見が多かった。 ③ましこ検定実施に向けて、難易度の件や合格証、特典についてなど未決定の部分があり、次回までの検討課題となった。 ④文化財修理補助金については、今後も所有者の方との連携を密にして修繕を進めていく。また、文化財周辺の環境整備についても継続して実施していく。 ⑤歴史講座兼文化財ガイド養成講座については、引き続き興味を引くような文化財関係の講座や広報に努めていく。</p>	<p>①前回、世間遺産認定審査員となった委員の先生方の意見を踏まえたストーリーのブラッシュアップ及び将来ビジョン、持続性、実施体制を検討する。 ②益子町歴史文化基本構想推進委員会の各地区代表委員の皆様から次年度から取り組みたい案件を意見としていただいているので、当初予算にどの程度取り込めるか検討する。 ③今回のましこ検定実行委員会を実施した結果、次回まで結論を先延ばしにした難易度の件や合格証など未決定事項を協議し、決定させる。 ④文化財修理補助金については、今後も所有者の方との連携を密にして修繕を進めていく。また、文化財周辺の環境整備についても継続して実施していく。 ⑤歴史講座兼文化財ガイド養成講座については、引き続き興味を引くような文化財関係の講座や広報に努めていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①日本遺産申請時のストーリーを濱田琢司先生からアドバイスをいただいた結果をもとに内部で検討する。 ②益子町歴史文化基本構想推進委員会の委員の皆様の見解を参考に、次年度からの事業内容を検討する。 ③来年度の補助金交付要望書を提出したので、ヒアリング対策を行う。 ④今年度から初級試験に加え、中級試験を実施する。中級試験の合格者には初級試験のときにはなかった特典を追加することなどのチラシを作成し、自治会回覧や各小中学校・高校へ配布するなど周知徹底する。 ⑥歴史めぐりは、3カ所とも観光ガイドが2名ついてくれたので、10人ずつ2班に分かれて詳細に説明を聞くことができた。参加者の皆さんはガイドの話に熱心に耳を傾け、質問を投げかけていた。</p>	<p>①日本遺産申請時のストーリーを固めて、観光商工課と協議を重ね、期限までに日本遺産申請を行う。 ②益子町歴史文化基本構想推進委員会の委員の皆様の見解を計画的に反映できるように心がける。 ③来年度の補助金交付要望書を提出したので、ヒアリング対策を講じる。 ④HP、FB等受検者増に向けた広報に努める。 ⑥今後、歴史講座を毎月開催できるよう準備を進める。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①濱田琢司先生からのアドバイスや観光商工課の意見を取り入れ、期限までに日本遺産の申請書を提出した。 ②文化財防火訓練を消防関係者、文化財関係者、教育委員、地元の方等と連携して開催することができた。 ③ましこ検定(一般の部) 初級:受検者7名、合格者6名 中級:受検者12名、合格者12名 ましこ検定(中学生の部) 初級のみ:受検者178名、合格者30名 合計:受検者197名、合格者48名 ましこ検定を各中学校で実施したため、受検者数は大幅に増加したが、中学生の合格者は30名と約17%にとどまった。社会科副読本から9割程度出題したが、初めての検定ということもあり、傾向がわからなかったことや文化財関係の問題の正答率が低かったことが主な要因である。 ⑤歴史講座・文化財ガイド養成講座は毎回たいへん人気があり、多くの参加者に出席していただいている。</p>	<p>①日本遺産申請の結果を受けて、その後の事業を検討していく。 ②文化財防火訓練の反省会で出された意見を踏まえ、来年度も実施していく。 ③中学生の合格率を上げる対策を検討していく。 ⑤引き続き町民の方の興味がある講座を企画していけるよう検討していく。また、今年度は開催時期が年度末まで延びてしまったので、年間の講座スケジュールを早めに計画し、広報活動をしていけるようにする。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	日本遺産登録申請は継続する。内部で検討したストーリーを外部の方（濱田琢司先生・濱田友緒さん）に見てもらい、アドバイスをいただいたうえで、他課とも協議を重ね期限までに申請する。 ましこ検定は今年度から初級試験に加え、中級試験を実施する。校長会を通して中学生にも受検していただけるようにする。 今後も魅力あるボランティア養成講座を計画的に実施していく。 歴史講座においても興味がひかれる内容のものを計画していく。
	第2四半期	ましこ検定は3回を別途に内容を検討されてはいかかがか。 ボランティア養成講座は計画通りに開催され順調であると考え。 歴史講座は内容も古墳など興味を引くものであり全体として担当課の取組を評価したい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	日本遺産申請は次年度も継続する。なお、焼物（かさましこ）でつながりのある笠間市と手を組み、シリアル型での申請を検討していきたい。 また、観光ボランティアガイドましこの皆さんや文化財保護審議会委員、地域おこし協力隊、観光の専門家である山田桂一郎氏等の意見も踏まえてストーリーづくりに取り組んでいきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	総務課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	35件	現状値	42件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		③広報係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者との契約、撮影内容の確認		
	5月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。動画については昨年に引き続き、認定された「ましこ世間遺産」を記録・保存するための準備を進める。	③広報係職員による町内行事等の写真の充実		
	6月		③広報係職員による町内行事等の写真の充実		
	7月		③広報係職員による町内行事等の写真の充実		
	8月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。動画については昨年に引き続き、認定された「ましこ世間遺産」を記録・保存するための準備を進める。	③広報係職員による町内行事等の写真の充実		
	9月		③広報係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者や関係職員との撮影内容の打合せ		
	10月		③広報係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者や関係職員との撮影内容の打合せ		
	11月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。記録・保存した「ましこ世間遺産」の動画については、町内外に発信し益子の魅力を伝える。	③広報係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者や関係職員と撮影		
	12月		③広報係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者による動画の編集		
	1月		③広報係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者による動画の編集		
	2月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。記録・保存した「ましこ世間遺産」の動画については、町内外に発信し益子の魅力を伝える。	③広報係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者による動画の編集		
	3月		③広報係職員による町内行事等の写真の充実 ホームページに動画動画をアップし町内外にPRした。		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>昨年は、ましこ世間遺産に認定された11件の動画を撮影し、ホームページ上で公開することができた。昨年度認定され撮影していない9件と今年度の認定状況を確認しつつ撮影の準備をした。</p>	<p>撮影委託業者や生涯学習課と連携をとりながら進めていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>ましこ世間遺産（昨年度認定9件、今年度認定7件）の撮影準備をした。</p>	<p>撮影委託業者や生涯学習課と連携をとりながら進めていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>ましこ世間遺産（昨年度認定9件、今年度認定7件）の動画撮影準備及び撮影をし、委託業者による編集作業に入った。</p>	<p>撮影委託業者による編集が終わり次第、速やかにホームページ上で公開する。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>ましこ世間遺産（昨年度認定9件、今年度認定7件）の動画を業者による撮影・編集をして、ホームページ上にアップすることができた。</p>	<p>次年度も生涯学習課と連携をとり、認定されたましこ世間遺産の動画を撮影するとともに、町内外に益子町の良さを紹介していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	広報ましこの発行や、ましこ世間遺産の動画撮影については、今後も継続し、町の広報に努めていきたい。
	第2四半期	②意見・提言 広報ましこは毎月楽しみにしている方が多いと思われる。写真も素晴らしい、読みやすいと感じる。 ましこ世間遺産の動画は空からの映像等があり魅力的に感じている。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿った事業運営を継続していく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 広報ましこの写真（特に表紙の行事紹介など）がとても素晴らしい、見るのが楽しみである。 今後も、年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	環境課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	35件	現状値	42件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		②アカマツ復活プロジェクト実施に向けたとちぎの元気な森づくり市町村交付金事業活用等に関する県東環境森林事務所との意見交換		
	5月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施に向けた関係機関との調整	②アカマツ復活プロジェクト実施に向けて県東環境森林事務所と打合せ		
	6月		②アカマツ復活プロジェクト実施地の下刈り作業参加		
	7月		②アカマツ復活プロジェクト実施に向けて県東環境森林事務所と打合せ		
	8月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施に向けた関係機関との調整	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施に向けて、益子小学校、益子里山の会との打合せ		
	9月		②アカマツ復活プロジェクト実施に向けて県東環境森林事務所と打合せ		
	10月		②枝打ち体験箇所現地確認（県東環境森林事務所、益子里山の会、環境課）		
	11月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施（間伐枝打ち体験等）	②枝打ち体験箇所の下刈等実施（益子里山の会、環境課）		
	12月		②益子小学校6年生児童による枝打ち体験を実施 ②植樹体験の打合せを益子小学校で実施（益子小、益子里山の会、環境課）		
	1月		②植樹体験箇所の地拵え		
	2月	②アカマツ復活プロジェクトイベント実施（植樹等）	②植樹時の添え木作成 ②植樹箇所のマーキング ②植樹体験の開催		
	3月		②県東環境森林事務所担当との事業完了の確認検査		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②今年度についても町内小学生による間伐枝打ち体験及び植樹を計画している。とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業等を活用し、イベントを開催する。</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトのイベント開催については、開催時期、内容等について、県東環境森林事務所、益子里山の会、益子小学校と協議を行う。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては今年度のイベント実施について県東環境森林事務所及び益子里山の会と打合せや現地確認を行った。また、イベントの実施にあたっては、とちぎの元気な森づくり県民税事業等を活用する。</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについてはイベント開催に向け、開催日時、開催内容等県東環境森林事務所と詳細に協議をする。また益子里山の会や益子小学校と事前打合せを実施して行く。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては、県、益子里山の会および益子小と協議を重ね、とちぎの元気な森県民税事業等を活用し、益子の森にて益子小学校6年生による枝打ち体験を実施した。ほとんどの児童が初体験のようで記憶に残る体験であったと思われる。第4四半期のイベントについても県、益子里山の会および益子小と開催時期、開催内容、事業費充当について協議をした。</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては第4四半期に植樹体験を予定しているため、とちぎの元気な森県民税事業活用のため県東環境森林事務所と協議をする。また関係団体や益子小学校などに対しても、事前打合せを重ねていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては平成31年2月のイベント開催に向けて県及び益子里山の会と連携を図った。参加団体の会員の参加しやすい体制にすることを重要課題とした。とちぎの元気な森づくり県民税事業を活用し、植栽イベントを実施した。</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについてはイベントを開催するに当たって、開催時期、開催内容、事業費の充当について、とちぎの元気な森づくり県民税事業等を活用し県東環境森林事務所と詳細に協議をする。また活動団体や小学校などに対して、参加に向けた事前打合せを早め実施して行く。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 アカマツ復活プロジェクトでは、町の景観保全、登り窯など焼物につながる町木でもあり、数値的な経済効果は表しがたいが、国土保全など大切な役目を考慮して末永く継続されることを期待したい。	アカマツ復活プロジェクトは町木であるアカマツの景観、環境等を考慮して小学校と連携し事業に取り組んでいく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 自然とのふれあい（山仕事）は、貴重な体験だったと思う。今後も、年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	アカマツ復活プロジェクトは町木であるアカマツの景観、環境等を考慮して31年度で3年目となり更なる事業に取り組んでいく。31年度は活動内容の周知を行うとともに活動の幅を今後どのように広げていくかの検討もしていきたい。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	35件	現状値	42件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①第1回実行委員会の開催（29年度実績、30年度計画について）		①第1回ましこ検定・世間遺産実行委員会へ出席。4/19。（29年度実績、30年度計画について）	
	5月				
	6月				
	7月	①第2回実行委員会の開催（上期分審査会の開催）		②第2回ましこ検定・世間遺産実行委員会へ出席。7/18。（世間遺産審査、ましこ検定日程ほか）	
	8月				
	9月				
	10月	①第3回実行委員会の開催		②ましこ検定・世間遺産実行委員会の実施。10/26。（世間遺産審査会にのみ、観光商工課出席）	
	11月				
	12月				
	1月	①第4回実行委員会の開催（下期分審査会の開催）			
	2月			②ましこ検定・世間遺産実行委員会の実施。2/6。（世間遺産の審査・ましこ検定の出題問題検証）	
	3月				

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>①29年度は指標とする認定数を達成でき、町民の関心度が高いと思われる。</p>	<p>①引き続き、ましこ世間遺産のPRや申請勸奨を進めていく。環境整備費補助金を有効に活用出来るよう周知していく。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②ましこ検定受験を中学生に受験してもらい、益子町への興味、愛着をもってもら取組みに繋げたい。 ②世間遺産の下期募集を行うか検討。</p>	<p>②ましこ検定の中学生受験について、学校・教育委員会と調整し、中学生が受験しやすい体制を整理していく必要がある。 ②世間遺産登録について、認定数が目標値に達成していないため、各委員から地元への働きかけを依頼し、新たな登録を目指す。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②観光資源に繋がり得る世間遺産の発掘を推進していきたい。</p>	<p>②担当課と協力して、世間遺産を生かした周遊ルートづくりを検討する。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>②観光資源に繋がり得る世間遺産の発掘を推進していきたい。</p>	<p>②担当課と協力して、世間遺産を生かした周遊ルートづくりを検討する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	35件	現状値	42件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①第1回実行委員会の開催（4/19、9名参加 環境整備費補助金の実績報告・収支決算報告・H30年度スケジュールについて） ③世間遺産案内看板設置（4月末現在 15件）	
	5月	①第1回ましこ世間遺産実行委員会の開催（昨年度支給した環境整備費補助金の実績報告） ②平成29年度下半期認定分のHP作成 ③平成29年度ましこ世間遺産の案内看板設置（同意を得た箇所） ④平成30年度世間遺産申請受付開始の広報作成 ⑤町指定の祭り・お囃子団体に交付金を交付する		②平成29年度下半期認定分のHP作成（5/29） ④自治会長会議で世間遺産認定について説明（5/18） ④HP（5/18）、FB（5/24）、広報ましこお知らせ版（5/27）、広報ましこ（6/1）で6/1～世間遺産申請の受付を開始したことの周知 ⑤文化財振興交付金の交付（28件）	
	6月			①世間遺産申請受付中	
	7月			①世間遺産申請件数7件、世間遺産の現地調査（7/7、6名参加） ②第2回ましこ世間遺産実行委員会の開催（7/18、10名参加 ましこ世間遺産審査会を開催し、申請した7件すべてが認定された。認定式の日程決定した。） ③ましこ世間遺産認定式の開催（7/29、14名参加） ⑥環境整備費補助金申請（7/31現在 2件）	
	8月	①ましこ世間遺産申請場所の現地調査 ②第2回ましこ世間遺産実行委員会の開催（審査会、認定式日程） ③ましこ世間遺産認定式 ④認定箇所の広報周知（広報ましこ、お知らせ版、HPなど） ⑤案内看板設置（同意を得た箇所） ⑥環境整備費補助金事務の遂行			
	9月			④広報ましこ9月号に認定された世間遺産の紹介記事を掲載した。 ⑥環境整備費補助金申請（9/27、1件）	
	10月			①第3回ましこ世間遺産実行委員会の開催（10/26、8名参加 ましこ世間遺産平成30年度下期開催について検討した結果、12/1～1/19まで募集することが決定した。） ②環境整備費補助金申請（10月中、3件）	
	11月	①第3回ましこ世間遺産実行委員会の開催（活用に向けての検討） ②環境整備費補助金事務の遂行		①HP（11/1）、広報ましこお知らせ版（11/25）、広報ましこ（12/1）で12/1～平成30年度下期分ましこ世間遺産募集開始することを周知	
	12月			①FB（12/4）、防災無線（12/5）、自治会長会議（12/13）で12/1～平成30年度下期分ましこ世間遺産募集開始することを周知 ②環境整備費補助金申請（12月中、2件）	
	1月			①世間遺産申請件数16件、世間遺産の現地調査（1/26、6名参加）	
	2月	①第4回ましこ世間遺産実行委員会の開催（次年度に向けての課題） ②環境整備費補助金事務の遂行		①第4回ましこ世間遺産実行委員会の開催（2/6、10名参加 ましこ世間遺産審査会を開催し、16件申請中15件が認定（場所が同一敷地内のため一体とみなす）された。認定式の日程決定した。） ①ましこ世間遺産認定式の開催（2/23、21名参加） ①ましこ世間遺産紹介展示（2/23～3/10まで） ①昨年度認定された世間遺産でどこが世間遺産に認定されたかわかりづらいという箇所を追加で名称を掲示した。（合計9箇所）	
	3月			②環境整備費補助金申請（3月中、8件）	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>③まだ設置していない世間遺産の案内看板を設置する ④世間遺産申請された場所の現地調査・審査資料の準備をする</p>	<p>③世間遺産の案内看板を設置する ④世間遺産申請された場所の現地調査等をする</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>④認定された世間遺産のHP掲載内容の検討(道案内を含む)、案内看板を設置する。また、下半期の募集を行うか検討する。</p>	<p>④認定された世間遺産のHP掲載内容の検討(道案内を含む)、案内看板を設置する。また、下半期の募集を行うか検討する。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>①世間遺産申請された場所の現地調査・審査資料の準備をする</p>	<p>①世間遺産申請された場所の現地調査等をする</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>①ましこ世間遺産紹介展示(2/23~3/10) 入場者240名 アンケート:回答者14名 満足(やや満足含む)と回答した割合:約80% ①世間遺産の認定数の目標値が今年度35件(累計)であったが、42件となり、達成することができた。マスコミや広報活動の影響によるものと考えられる。</p>	<p>①世間遺産の看板をスムーズに設置できるように、認定団体と連絡を密にしていく。来年度の申請募集について、実行委員会に諮りスムーズに進めていけるようにする。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	平成30年度下期分としてましこ世間遺産募集を12/1～1/19まで行うことになり、自治会長会議やHP、広報等で周知徹底する。今後も認定目標数達成に向け、継続的にPRしていく。
	第2 四半期	②意見・提言 ましこ世間遺産認定制度は、益子にある（潜む）歴史文化の掘り起しに有効であり、町民の歴史と地域意識を喚起するため、件数にこだわらず長いスパンで継続されることを望む。 道の駅での企画展、広報ましこ、お知らせ版、ホームページ等文化財に関する広報活動で徐々に町内外に認知されていると思われる。職員手作りの世間遺産の看板も立派である。認定目標数達成に向け、下半期も募集するということで期待している。	
総括 （下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	次年度も、ましこ世間遺産募集を上期、下期の2回行い、申請しやすいよう取り組んでいく。看板も何が認定になったのかがわかりやすいように認定されたものの名称も継続して掲示していきたい。草刈り等に補助している世間遺産環境整備費補助金についても継続していく。
	総括 （第4 四半期も含む）	②意見・提言 ましこ世間遺産の認定が好調である影には、担当者の努力があると思われる。また、手づくりの素晴らしい看板であり、ありがたいと思っている。世間遺産環境整備補助金は地元の励みになっていると思われる。	

		課局名	建設課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	ましこのランドスケープデザインの作成	進捗状況	35%		
KPI	ランドスケープデザインの作成	本年度目標値	作成	現状値	
KPI	(成果代替指数) 町道の改良率	本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①②補助事業交付申請ヒアリング (4/19) 小貝川水防連絡会出席 (4/27)③景観条例制定の推進のための情報収集、ランドスケープデザイン作成のための打合せ会議 (4/25、26)	
	5月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。ランドスケープデザインの作成のための情報収集、現地調査		①②長堤沢砂防事業境界立会い(5/17)・今年度事業について真岡土木事務所との意見交換会実施 (5/18) 豆田橋河川協議(5/21) ③ランドスケープデザイン作成のための関係機関との打合せ会議 (5/15、16) 茂木町まちなか文化交流館ふみの森もてぎ視察 (5/23)	
	6月			①②長堤沢砂防事業打合せ(6/15)・豆田橋打合せ(6/20)・町道146号新町北益子線測量業務の開始③ランドスケープデザイン作成のための、現地調査 (6/25) 栃木県景観行政担当者研修会への参加 大田原市中心部 (6/26)	
	7月			①②町道170号一の沢円道寺線 (仮称) の測量常務の開始③ランドスケープデザイン作成のための、東工大の真田准教授によるレクチャーを実施した。(7/30)	
	8月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。ランドスケープデザインの作成のための情報収集、現地調査		③ランドスケープデザイン作成のための、現地調査 (8/1) 関東甲信ブロック景観行政セミナーへの参加 (8/27)	
	9月			①②豆田橋架け替え工事発注 (不調) ③ランドスケープデザイン作成のための、現地調査 (9/17~19) 小宅地区で益子町ランドスケープ勉強会を実施した。(9/18)	
	10月			①②国道121号推進期成同盟会総会・要望に出席 ③町民大学の講義で、ランドスケープデザインの説明をした。(10/4) 栃木県景観講演会への参加 (10/31) ⑤	
	11月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。ランドスケープデザインの作成のための情報収集、現地調査		①②鹿嶋・宇都宮間国道昇格期成同盟会要望活動、豆田橋下部工の工事を発注した。 ③ランドスケープデザイン作成のための、現地調査 (11/2)	
	12月			③ランドスケープデザイン作成のための、資料整理	
	1月			①②長堤沢砂防事業関係の打ち合わせを真岡土木事務所と行った。(1/10) 小貝川関係水位計等に関する説明会 (1/16) ③広報ましこ1月号にランドスケープデザインについて掲載 (1/1) 益子、塙、大羽、田野、七井地区の関係者との意見交換 (1/15~17)、山本地区で現地調査、意見交換会 (1/19)	
	2月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。ランドスケープデザインの作成のための情報収集、現地調査		①②真岡土木事務所との道路関係打ち合わせ会議 (2/8)、宇都宮笠間線に関する真岡土木との打ち合わせ (2/25) ③スペインのオロットでランドスケープデザイン作成のための現地調査 (2/28~3/4)	
	3月			①②町道7号生田目線改良工事の完了、県道益子公園線の測量立会 (3/12) ③5月の各地区意見交換会のスケジュール調整、自治会長に通知、自治会回覧 (3/28)	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①②豆田橋橋梁架替えのための業者と打ち合わせ、県との河川協議を行った。長堤沢砂防事業に係る打ち合わせ、現地立会を行った。町道146号新町北益子線の測量業務の発注を行った。</p> <p>③ランドスケープデザイン作成のため、現地調査を実施した。</p>	<p>①②豆田橋については協議等を行い工事実施に向けて準備を進めていく。・長堤沢砂防事業については、県との打ち合わせ等を密に行い事業がスムーズに進むように協力していく。・町道146号新町北益子線に関しては測量後の説明会等の準備を進めていく。</p> <p>③ランドスケープデザイン作成のため、各専門分野（環境、農業、林業、観光業など）の方や住民や益子にかかわる方々との意見交換やワークショップを実施していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①②町道146号新町北益子線の測量が完了した。また、町道170号一の沢門道寺線（仮称）の測量業務を開始した。豆田橋の工事発注が不調であったことから再度設計を組みなおす。③ランドスケープデザイン作成のため、各専門分野（環境、農業、林業、観光業など）の方や住民や益子にかかわる方々との意見交換を行った。</p>	<p>①②豆田橋の工事発注が不調であったことから下部工、上部工に分けて工事発注する準備をする。・町道146号新町北益子線の地元説明会の準備を進める。③ランドスケープデザイン作成のため、現地調査や住民との意見交換、勉強会等を実施していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①②町道170号一の沢門道寺線（仮称）の測量業務を開始した。豆田橋工事の発注を行った。</p> <p>③ランドスケープデザイン作成のため、各専門分野（環境、農業、林業、観光業など）の方や住民や益子にかかわる方々との意見交換を行った。</p>	<p>①豆田橋工事に完了に向けて工事を進める。町道170号一の沢門道寺線（仮称）地元説明会を行う。</p> <p>③ランドスケープデザイン作成のため、現地調査や住民との意見交換、勉強会等を実施していく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①②町道7号生田目東田井線道路改良工事が完了した。豆田橋の工事が繰越となるため準備等を行った。また、国県道関係の打ち合わせを県と行った。③ランドスケープデザイン作成のため、H31年度のスケジュールを確認した。</p>	<p>①②町道7号生田目東田井線の改良済工事及び、舗装工事を速やかに行っていく。また、町道146号、170号線の説明会を行い計画を進めていく。また県とも密に打合せを行い、国県道に関する要望をあげていく。</p> <p>③ランドスケープデザイン作成のため、各地区の現状を再確認し、計画案を作成していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	③ランドスケープデザイン作成のため、現地調査や住民との意見交換、勉強会等を実施していく。
	第2四半期	②意見・提言 ましこの未来予想図であるランドスケープデザインについて、益子らしさを残しつつの大変な取組と考えている。期待して取組を見守りたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	③ランドスケープデザイン作成のため、現地調査や講演会、地域づくり懇談会、風景計画の報告会等を実施していく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ランドスケープデザインに対する町民の期待は大きいと思われる。事業費も気になるところである。道路・橋りょう・舗装工事は、町民の生活利便性の向上のため、防災面も考慮して計画的に推進されたい。	

		課局名	環境課			
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備			
施策	特性を生かした地域創生	進捗状況	100%			
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	77.0%	現状値	72.3% (H29)	
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月	②花の会総会にて今年度の活動方針の相談				
	5月	②両会における森林山村多面的機能発揮対策事業申請書の作成支援 ②益子花の会草刈支援 1回				
	6月	②両会における菜種の収穫状況の確認				
	7月	③県議会農山村地域振興議員の会による亀岡八幡宮里山の会現地視察				
	8月	②両会の次年度活動計画の作成支援				
	9月	②益子花の会の活動状況（現地）確認				
	10月	②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会の活動支援	③亀岡八幡宮里山の会の多面的事業中間検査における指摘事項への対応（図面作成支援）			
	11月	③亀岡八幡宮里山の会の活動状況（現地）確認				
	12月	②益子花の会打合せへの参加 ②亀岡八幡宮里山の会の多面的事業及び侵入竹対策事業の実績報告書作成支援				
	1月	②亀岡八幡宮里山の会の事業完了確認検査				
	2月	②益子花の会の事業完了確認検査				
	3月	②次年度事業の実施の打ち合わせ				

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会については亀岡八幡宮内の古墳群が会員の熱心な草刈、植栽、生育活動等により毎年美しく整備されている。両会とも今後も様々な取組を計画しており、引き続き活動を支援できるよう両会との情報交換をして親密な関係性を形成してゆくことが重要。</p>	<p>②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会が今後も引き続き活動するにあたっては、従来から交付をうけている森林・山村多面的機能発揮対策交付金が引き続き交付されるよう資料作成の支援や、みどり推進機構との連絡調整をする。また、両会と、今後の活動にあたっての問題点、改善点について意見交換をして持続的な活動の支援をする。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会についてはその地区の活動を確認した。今後も引き続き活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしてゆくことが重要である。</p>	<p>②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会が今後も引き続き活動するにあたっては、従来から交付をうけている森林・山村多面的機能発揮対策交付金が引き続き交付されるようみどり推進機構との連絡調整をする。また、今後の活動にあたっての課題点、改善点について各会とも意見交換及び情報交換をする。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会についてはその活動を確認した。今後も引き続き活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしてゆくことが重要である。</p>	<p>②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会の今後の活動にあたっては、従来から交付をうけていた森林・山村多面的機能発揮対策交付金を有効に活用し、みどり推進事業との連絡調整を図り事業が適切に実施できるよう努める。また、今後の活動にあたっての課題点、改善点について意見交換及び情報交換をする。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会についてはその活動を確認した。今後も引き続き活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしてゆくことが重要である。</p>	<p>②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会の今後の活動にあたっては、森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用し、みどり推進機構との連絡調整を図り事業が適切に実施できるよう努める。また、会員の高齢化等が懸念されるが、今後の活動にあたっての課題点、改善点について意見交換及び情報交換をしていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	小宅地区の桜の損傷については県東環境森林事務所と対応を協議していく。益子町の観光のスポットのひとつとなるよう引き続き支援していく。
	第2四半期	②意見・提言 円道寺池整備について、植栽面はおおむねできているので、今後の課題は域内整理と植栽木の管理が重要となってくる。花の会との密な連絡調整を期待する。 小宅古墳群整備は生涯学習課、環境課、観光商工課等の積極的な支援で順調に進展していると思われる。本年度は相次ぐ台風直撃により桜が損傷を受け、地元活動団体では補植をしたい意向があるようなので、連携を図られ県森林管理事務所等と折衝されたい。 将来的にも地元の方々が取り組んでいけるよう支援を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課連携して益子町の桜観光のスポットとなるよう引き続き支援していく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 益子花の会、亀岡八幡宮里山の会共に行政の活動支援に対し地元は感謝と期待をしている。今後とも、地元との接触を密にして情報交換を望む。	

		課局名	農政課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	77.0%	現状値	72.3% (H29)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		②4/26大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		
	5月	②大郷戸ダム親水公園の見回り、草刈りの実施。	未実施		
	6月		②6/21大郷戸ダム親水公園の見回り、点検 6/8.28公園草刈り		
	7月		②7/9.11.12大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		
	8月	②大郷戸ダム親水公園の草刈りの実施。	②8/2.20.27大郷戸ダム親水公園の見回り、点検 公園草刈り		
	9月		②9/5大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		
	10月		未実施		
	11月	②大郷戸ダム親水公園の見回り	未実施		
	12月		②12/11大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		
	1月		②2/12~18親水路の草刈り、泥上げ		
	2月	②大郷戸ダム親水公園の見回り	②2/22大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		
	3月		②3/12大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第 1 四 半 期</p>	<p>②利用者が少ないため、魅力ある公園作りが必要である。</p>	<p>②利用者が安全に利用できるよう見回り、点検を行うとともに魅力ある公園整備を行う。</p>
<p>第 2 四 半 期</p>	<p>②利用者が少ないため、魅力ある公園作りが必要である。</p>	<p>②利用者が安全に利用できるよう見回り、点検を行うとともに魅力ある公園整備を行う。</p>
<p>第 3 四 半 期</p>	<p>②利用者が少ないため、魅力ある公園作りが必要である。</p>	<p>②利用者が安全に利用できるよう見回り、点検を行うとともに魅力ある公園整備を行う。</p>
<p>第 4 四 半 期</p>	<p>②利用者が少ないため、魅力ある公園作りが必要である。</p>	<p>②利用者が安全に利用できるよう見回り、点検を行うとともに魅力ある公園整備を行う。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	いのししの被害により公園内の芝生の傷みがひどいが補修を行いながら利用を続ける。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・3委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 大郷戸ダムについては、農業用施設としては十分機能を発揮しているが、それだけではもったいないので、多面的に活用できるよう専門家など有識者の意見などを聞いてみてはどうか。 ランドスケープデザインに映し、周辺景観を売りにはどうか。 サイクリングコースやハイキングコースとして、折にふれ紹介してはどうか。 世間遺産の認定を進めてはどうか。	大郷戸ダムを観光資源として利活用できるよう検討していく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	77.0%	現状値	72.3% (H29)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			②円道寺池周辺整備団体「益子花の会」総会。4/22。	
	5月	②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。		④「益子国民休養地（益子の森）施設等の取扱いについて」栃木県県東環境森林事務所から協議書提出。5/30。	
	6月			④「益子国民休養地（益子の森）施設等の取扱いについて」栃木県県東環境森林事務所へ回答。6/15。	
	7月			④「益子国民休養地（益子の森）施設等」について、今年度は「ひだまり広場」の遊具について整備する。設置する遊具の選定。7/18。	
	8月	②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。			
	9月				
	10月			④県東環境森林事務所より観光商工課宛て「遊具整備計画書」が提出される。11/9。	
	11月	②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。			
	12月			④益子国民休養地（益子の森）ひだまり広場の遊具。施工業者の決定。 (工期：12/13～3/15)	
	1月			④益子国民休養地（益子の森）ひだまり広場の遊具。 (現場着手：1/6) ⑤ランドスケープデザイン小嶋氏からのヒアリング 1/17	
	2月	②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。			
	3月			④益子国民休養地（益子の森）ひだまり広場の遊具。 (工事完了：3/15 完了検査：3/20 引渡し：3/22)	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②整備団体及び関係各課とルート検討について調整が必要。 ④県東環境森林事務所担当者と現地確認。</p>	<p>②各地域の周辺整備への協力。トレッキングコースの検討。 ④遊具の決定。新設遊具の所管取扱協議について進める。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>④県東環境森林事務所担当者と遊具の取扱いについての協議を進めることができた。</p>	<p>④今後も県東環境森林事務所との協議のうえ、適正に整備を進める。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>④県東環境森林事務所より「遊具整備計画書」が提出され、施工業者が決定された。(栃木県の事業)</p>	<p>④遊具の完成に向けて、県東環境森林事務所担当者・工事施工業者・遊具メーカーとの打合せを行い、状況把握に努める。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>④県東環境森林事務所からの「施設引継書」により、遊具所管が益子町に移る。遊具設置後の維持管理については益子町が行う。 ⑤ランドスケープデザインの先進地事例や、小宅古墳群周辺の調査結果について共有し、益子町の景観デザインについて情報交換をすることができた。</p>	<p>④2019年度第2期の遊具設置工事に向け、県東環境森林事務所と協議を進め、森林公園の立地を生かした遊具の選定を進める。 ⑤益子町が残したい風景・外から見た益子の魅力ある風景を、観光ルートづくりに繋げていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。 益子の森遊具については、アルミ・擬木等の（木製ではない）素材が使用される予定です。
	第2四半期	②意見・提言 益子の森の遊具整備に関連し、木製遊具はエコではあるが耐久性を考慮し、金額は高くなってしまいが耐久性のあるコンクリート製にしてみたいか。 雨卷山へのハイキング者が多いことに驚いている。登山路の整備や頂上からの眺めが良いからなのか。地元活動団体の支援を継続されたい。 ましこポタリングマップが作成され、自転車による町内めぐりが活発となることを期待している。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	観光ルートの造成についても関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 地元が残したい風景に大平安善寺周辺と芳賀富士があり、関東ふれあいの道のルートにもなっており、寺や周辺のたたずまいは熊野神社と共に歴史的にも価値があり、大いに注目されてもよいと思うので、魅力ある益子の風景として景観デザインにつなげて欲しい。	

		課局名	建設課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性を生かした地域創生	進捗状況	20%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	77.0%	現状値	72.3% (H29)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と都市計画道路の見直しと「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。(4/16、19) ⑤補助事業交付申請ヒアリング(4/19)・繰越事業の町道4号栗崎道祖土線、町道284号西浦線改良工事実施		
	5月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺地区土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	①真岡土木事務所と都市計画道路の見直しについての打合せを実施した。(5/21) ⑤今年度事業について真岡土木事務所との意見交換会(5/18)・繰越事業の町道4号栗崎道祖土線、町道284号西浦線改良工事実施		
	6月		①関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と都市計画道路の見直しの打合せを実施した。(6/15) 関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。(6/21) 「役場周辺地区土地区画整理事業」の地権者説明会を実施した。(6/22) ⑤町道18号七井大平線測量業務の開始。・繰越事業の町道4号栗崎道祖土線、町道284号西浦線改良工事実施		
	7月		①「役場周辺地区土地区画整理事業」の地権者宅に訪問し、事業内容の説明を行った。⑤・繰越事業の町道4号栗崎道祖土線、町道284号西浦線改良工事完了・町道170号一の沢円道寺線(仮称)の測量業務開始		
	8月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺地区土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	①関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と都市計画道路の見直しの打合せを実施した。(8/6) 関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と都市計画道路の見直しの打合せを実施した。(8/28) ⑤・町道4号栗崎道祖土線舗装工事実施「とちぎの道」道路の現場検証実施(8/31)		
	9月		①関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と都市計画道路の見直しの打合せを実施した。(9/6) 関係機関の栃木県都市計画課と「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。(9/11) ⑤・町道4号栗崎道祖土線舗装工事完了		
	10月		①関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と都市計画道路の見直しと「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。(10/2、9) 「役場周辺地区土地区画整理事業」の地権者説明会を実施した。(10/2)。⑤安全・安心のまちづくり県民大会出席、通学路安全推進協議会(10/3) 道路事業ヒアリング(10/9)、国道121号整備促進同盟会総会・要望出席(10/19)		
	11月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺地区土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	①関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と都市計画道路の見直しと「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。(11/7、29、30) ⑤道路担当者出席会議(11/13)、鹿嶋・宇都宮間国道昇格期成同盟会要望活動(11/20)		
	12月		①関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と都市計画道路の見直しと「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。(12/5) 「役場周辺地区土地区画整理事業」の地権者説明会を実施した。(12/11) ⑤道路事業ヒアリング(12/3)		
	1月		①「役場周辺地区土地区画整理事業」の仮同意書の取得を開始した		
	2月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺地区土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	①関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と都市計画道路の見直しと「役場周辺地区土地区画整理事業」の都市計画決定スケジュール(案)を決定した(2/7) ⑤町道18号七井大平線測量設計業務発注(2/6) 真岡土木事務所との道路関係打ち合わせ会議(2/8)、宇都宮宮問線に関する真岡土木との打ち合わせ(2/25)		
	3月		①真岡土木事務所と「役場周辺土地区画整理事業」地内の都市計画道路変更の打ち合わせを実施した。(3/11) 栃木県警交通規制課と都市家各道路の変更に伴う交差点協議を実施した。(3/14) 都市計画決定(変更)に伴う地元説明会を開催した。(3/19) 「役場周辺地区土地区画整理事業」の地権者説明会を実施した。(3/26) 仮同意率 88%(58/66名) 3/29現在 ⑤県道益子公園線の測量立会(3/12)、町道18号七井大平線測量設計業務完了(3/25)		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第 1 四 半 期</p>	<p>①「役場周辺地区土地区画整理事業」の事業手法について、地権者の理解を得ること。 ⑤繰越となっている町道4号栗崎道祖土線及び町道284号西浦線の工事を進めた。・町道18号七井大平線の道路改良のための測量を開始した。</p>	<p>①「役場周辺地区土地区画整理事業」の地権者の理解を得るために説明会を実施する。 ⑤繰越となっている町道4号栗崎道祖土線及び町道284号西浦線の工事の速やかな完了を目指す。・町道18号七井大平線の道路改良工事に向け、地元説明などの準備を進める。</p>
<p>第 2 四 半 期</p>	<p>①「役場周辺地区土地区画整理事業」について、地権者の理解を得ること。⑤繰越となっている町道4号栗崎道祖土線及び町道284号西浦線の工事が完了した。・町道18号七井大平線の道路改良のための地元説明会を行った。町道170号一の沢円道寺線（仮称）の平面測量業務を開始した。</p>	<p>①「役場周辺地区土地区画整理事業」の地権者の理解を得るために説明会や地権者宅の訪問を実施する。・町道18号七井大平線の道路改良の設計等の準備を進めていく。・町道170号一の沢円道寺線（仮称）の地元説明会準備を進めていく。</p>
<p>第 3 四 半 期</p>	<p>①「役場周辺地区土地区画整理事業」について、地権者の理解を得ること。⑤観光ルート、安全な道路づくり推進のため国等への要望活動を行った。県内の担当者会議に出席し、様々な情報交換を行った。</p>	<p>①「役場周辺地区土地区画整理事業」の地権者の理解を得るために、地権者宅の訪問を実施する。③国県道の改修に向け、具体的な構想を考え、要望活動を行っていく。また、現在進行中の道路改良工事について早期完成を進めていく。</p>
<p>第 4 四 半 期</p>	<p>①「役場周辺地区土地区画整理事業」について、地権者の理解を得ること。⑤町道18号七井大沢線の測量設計業務が完了した。県道益子公園線の用地立会いを県と行い、県道の改良に向けて前進した。</p>	<p>①2020年3月組合認可申請に向けて、準備委員とともに「役場周辺地区土地区画整理事業」の地権者の理解を得ていく。 ⑤町道18号線の工事に向けて準備を進めていく。町道146号、170号線の道路改良の説明会を行い、工事に向けての理解を得ていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	①早期の事業開始に向けて、土地区画整理事業の説明会や戸別訪問を実施し、地権者、関係者の事業への理解を深めていく
	第2 四半期	②意見・提言 役場周辺地区の都市計画整備は、時間経過とともに進めがたくなることが想定されるので、早期の事業開始を期待したい。また、計画エリア内には憩いの空間を十分に作っていただきたい。	
総括 （下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	①早期の事業開始に向けて、土地区画整理事業の説明会や戸別訪問を実施し、地権者、関係者の事業への理解を深めていく
	総括 （第4 四半期も含む）	②意見・提言 役場周辺は内外ともに顔であり核であると思われるので、役場周辺土地区画整理事業については、ぜひとも導入を推進していただきたい。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	77.0%	現状値	72.3% (H29)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。	①古墳に足を踏み入れやすい場所に「古墳保護のため、古墳の登頂はご遠慮ください」の看板を設置した（4月上旬～中旬、10箇所程度）		
	5月		①第1回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会を立ち上げ、協議会を開催し、亀岡八幡宮駐車場に公衆用トイレを設置することが承認された（5/8、13名参加）。		
	6月		①小宅古墳群菜種の刈り取り作業の手伝い（6/2、3名参加）		
	7月	①小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。	①亀岡八幡宮駐車場に設置する公衆トイレ新築工事設計打合せ（7/11、7名参加） ①小宅古墳群彼岸花球根植えの手伝い（7/22、8名参加）		
	8月		①亀岡八幡宮駐車場に設置する公衆トイレ新築工事打合せ（8/3、6名参加）		
	9月				
	10月	①小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。	①亀岡八幡宮駐車場に設置する公衆トイレ新築工事打合せ（10/5、6名参加・10/23、7名参加） 公衆トイレ新築工事落札（10/26）		
	11月		①公衆トイレ新築工事契約（11/1） 工期を11/7～H31.2.28とする。		
	12月		①公衆トイレ新築工事地鎮祭（12/1）		
	1月	①小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。			
	2月		①公衆トイレ新築工事完了（2/28）		
	3月		①亀岡八幡宮に公衆トイレの鍵（3本）を引渡しした（3/20）		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①亀岡八幡宮駐車場に設置する公衆トイレについては随時地元の方と連絡を取り合い、できる限り要望に沿えるよう努力する。 亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>	<p>①連絡を密に取り合い、連携して実施する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①亀岡八幡宮駐車場に設置する公衆トイレについては工事に向けて着実に進めていく。 亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>	<p>①亀岡八幡宮駐車場に設置する公衆トイレについては工事に向けて着実に進めていく。 亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①亀岡八幡宮駐車場に設置する公衆トイレについては工事に向けて着実に進めていく。なお、10月26日の入札で落札され、11月1日付けで契約結んだ。2月末まで工事期間。 亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>	<p>①亀岡八幡宮駐車場に設置する公衆トイレについては2月末までの工期内に滞りなく工事が終了できるように随時打ち合わせを行っていく。 亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①公衆トイレの新築工事は2月28日に完了し、維持管理を亀岡八幡宮で行うと覚書を締結しているため、3月20日に鍵の引渡しを行った。</p>	<p>①今後、桜や菜の花の時期に多くの観光客が訪れることと想定される。亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	亀岡八幡宮駐車場に設置する公衆トイレについては2月末までの工期内に滞りなく工事が終了できるように随時打ち合わせを行っていく。また、小宅古墳群にスムーズにたどりつけるよう案内板を設置するなど、七井地区周辺環境整備に努める。
	第2四半期	②意見・提言 小宅古墳群の整備は地元活動団体のご苦勞があつて益子の名所になった。また、トイレ、看板、説明パンフレット等行政も一体となった支援が地元の方の励みとなっていると思われるため、引き続きの支援を期待している。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	地元の方の意見・要望をなるべく多く取り入れた公衆トイレを整備することができた。また、利用者の方からすごくきれいで良いトイレであるという意見もいただくことができたほか、桜と菜の花まつりの来場者も倍増したということで成果があがったといえる。今後も支援を継続していきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 公衆トイレの利用者から、快適であつた旨の声を聞くことができた。また、トイレ整備に関して、地元では感謝の声を聞くことができた。 地元の方々が骨身を惜しまず働いてくださり、桜と菜の花の咲く素晴らしい春を迎えることができた。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	魅力あるブランドイメージづくり		
施策	町のブランドイメージの確立	進捗状況	100%		
KPI	地域ブランド調査 魅力度市区町村ランキング	本年度目標値	250位	現状値	450位
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			③おもてなし補助事業「陶器市巡回バス」実施 4/28～5/6。利用者数4,808人 ③おもてなし補助事業「陶器市直行バス」実施 4/28～5/4。利用者数415人。	
	5月	①ブランド戦略会議の設置に向けた検討。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業の推進。			
	6月			③おもてなし補助事業「ましこdeカフェ」実施 6/10。来場者約3,000人	
	7月			④ジャパンハウス（ロンドン）井並氏来庁。町長室にて打合せ。2020年英国トップセールス事業についての打合せ。	
	8月	①ブランド戦略会議の設置に向けた検討。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業（英国）の実施。		③おもてなし補助事業「益子夜市」実施 8/11。来場者約8,000人	
	9月			③おもてなし補助事業「さんぼ市」実施 9/15～17。来場者約40,000人	
	10月			④2019・2020英国トップセールス事業打合せ。10/18。	
	11月	①ブランド戦略会議の設置に向けた検討。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業（台湾）の実施。		③おもてなし補助事業「陶器市直行バス」実施 11/3～4。利用者数139人。 ③おもてなし補助事業「益子の新そば祭り」実施 11/10～30。 ④2019・2020英国トップセールス事業打合せ。11/12。	
	12月			②ビジュアルアイデンティティ打合せ。12/21。 ③おもてなし補助事業「ポタリングましこ2018プレミアム」実施 12/2。参加者50人 ④2019・2020英国トップセールス事業打合せ。12/6。	
	1月			④2019・2020英国トップセールス事業打合せ。下野新聞社 1/8	
	2月	①ブランド戦略会議の設置に向けた検討。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業の推進。			
	3月			③おもてなし補助事業「栃木DC誘客事業」実施 ③おもてなし補助事業「益子駅駅舎LEDイルミネーション」実施 ④2019・2020英国トップセールス事業打合せ。下野新聞社 3/4	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③補助金の活用により、地域活性にむけたイベントの実施が出来ている。</p>	<p>①②観光戦略事業の中で進める。 ③適切な補助金の執行管理に努める。 ④国内トップセールスによる「旧南間ホテル」のPR。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③補助金の活用により、地域活性にむけたイベントの実施が出来ている。 ④英国トップセールス事業のひとつとして、ジャパンハウスでの益子焼PRプロモーションが検討された。</p>	<p>③適切な補助金の執行管理に努める。 ④英国トップセールスに向けて、長期的スケジュールを立てて進める必要がある。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②ビジュアル（フォント・ロゴの統一）について、方向性を検討。 ③補助金の活用により、地域活性にむけたイベントの実施が出来ている。 ④英国トップセールスについて、実施時期や、事業内容の検討を進めた。</p>	<p>②ビジュアル（フォント・ロゴの統一）について、事業計画を検討する。 ③適切な補助金の執行管理に努める。 ④2020年英国事業に繋がる、2019年事業を検討していく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③補助金の活用により、地域活性にむけたイベントの実施が出来ている。 ④英国トップセールスについて、実施時期や、事業内容の検討を進めた。</p>	<p>③適切な補助金の執行管理に努める。 ④2020年英国事業に繋がる、2019年事業を検討していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課及び団体と連携し、実施事業やPR活動の充実・推進を図る。
	第2四半期	②意見・提言 魅力度ランキングにこだわる必要がないのではないか。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課及び団体と連携し、実施事業やPR活動の充実・推進を図る。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 魅力度ランキングにかかわらず地道に今までどおり行動すれば、少しずつ向上すると思われる。	